

# デスクトップ仮想化 方式分類

2014年3月

ワイヴァンアイエス研究所

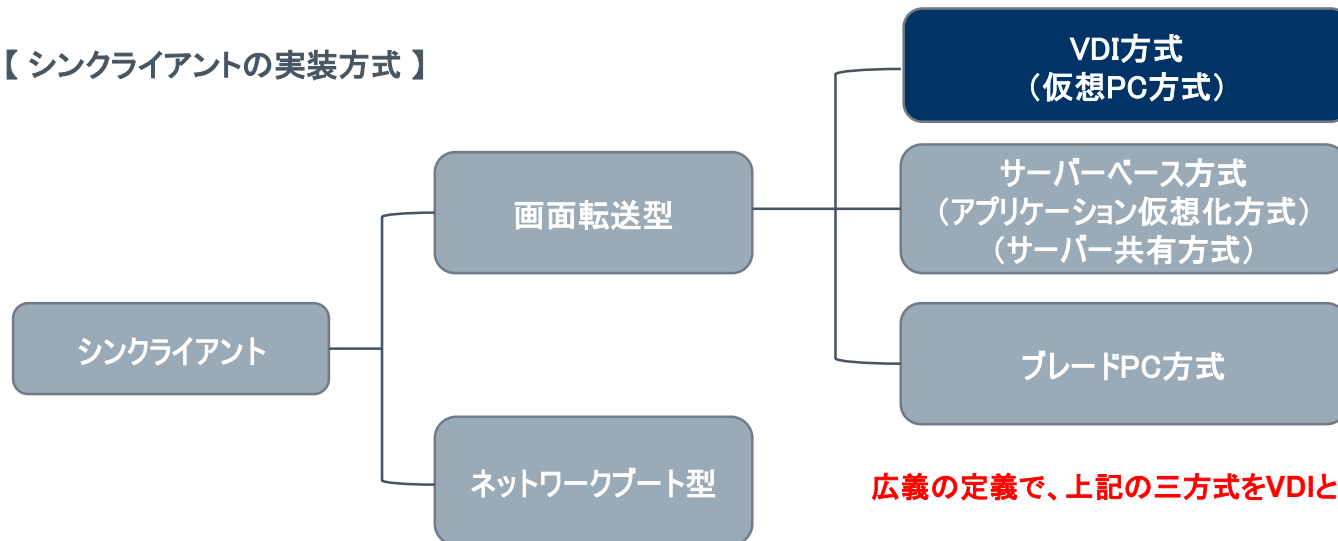
<http://www.y-vern-is.com>

# シンククライアントの種類とVDI

## › シンククライアントとは

- シンククライアントは、プログラムの実行や、データの保存といった機能をクライアント端末から切り離し、サーバーに集中させるアーキテクチャ
- Thin Client（通常のPCに対して機能を限定したクライアント。ストレージなし）
- 通常のPCは、ファットクライアント（Fat Client）と呼ばれる
- VDIは、シンククライアントの実装方式のひとつ
- ネットワークブート型と画面転送型の二種類

### 【シンククライアントの実装方式】



広義の定義で、上記の三方式をVDIとすることもある

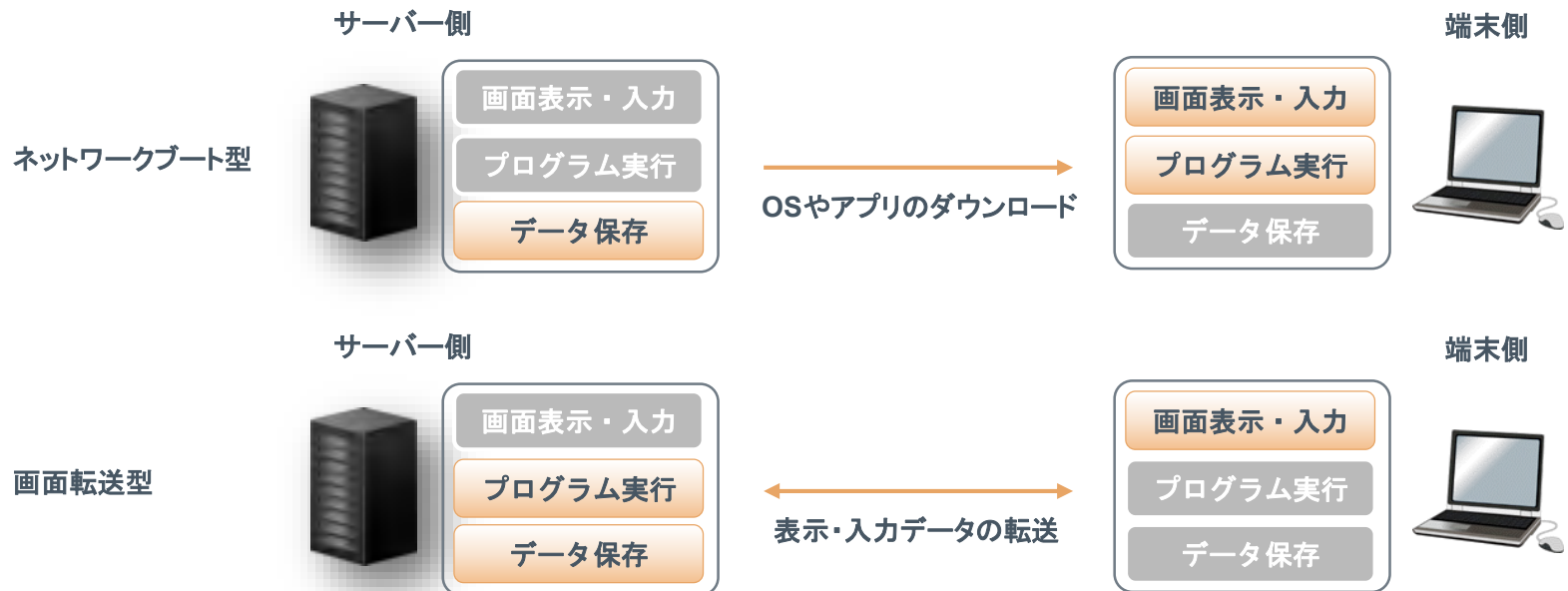
# ネットワークブート型と画面転送型

## ネットワークブート型シンクライアント

- サーバーからOSやアプリケーションのイメージをネットワーク経由でダウンロードして起動
- 起動時にはネットワークに大量のトラフィックが流れる

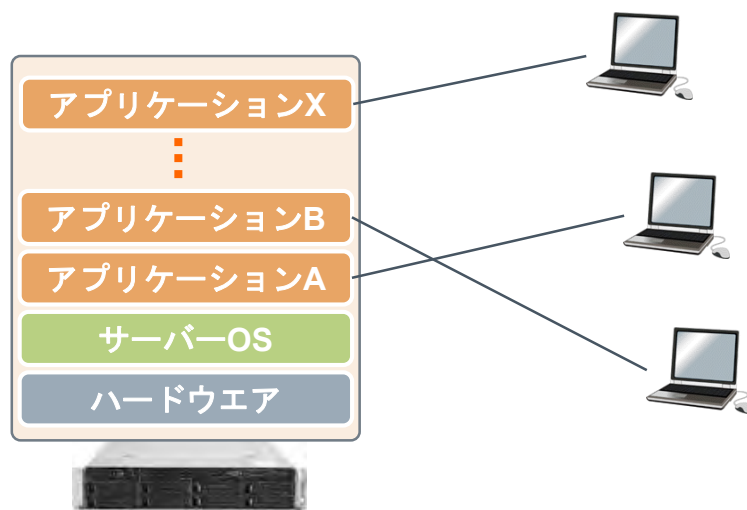
## 画面転送型シンクライアント

- OSやアプリケーションをサーバー側で実行、画面出力を端末に転送
- VDIは画面転送型シンクライアントの実装方式となる



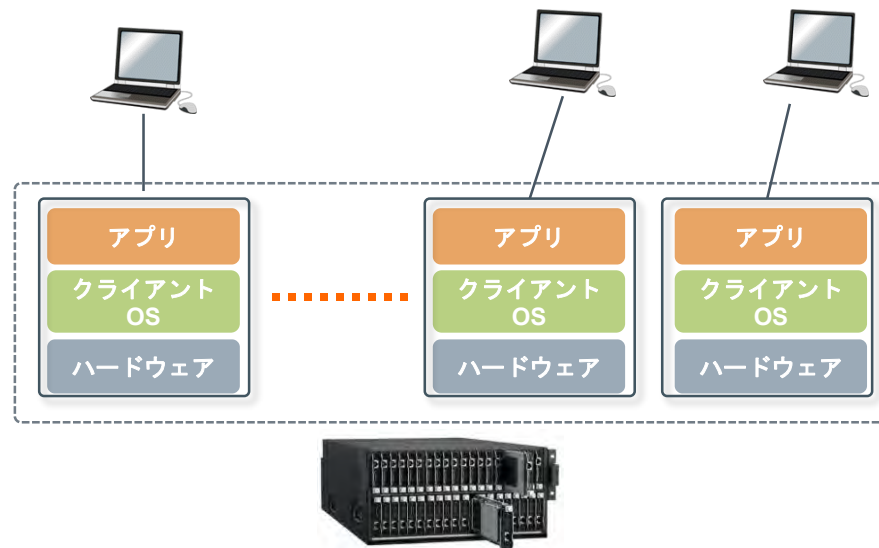
# サーバーベース方式

- › サーバー上のアプリケーションを複数ユーザーが利用
- › サーバー共有方式やアプリケーション仮想化方式とも呼ばれる
- › アプリケーションは、マルチユーザーアクセスに対応する必要がある
- › クライアントはサーバーにログインしてアプリを実行する
- › クライアントの入力に対してサーバーが画面情報を返す



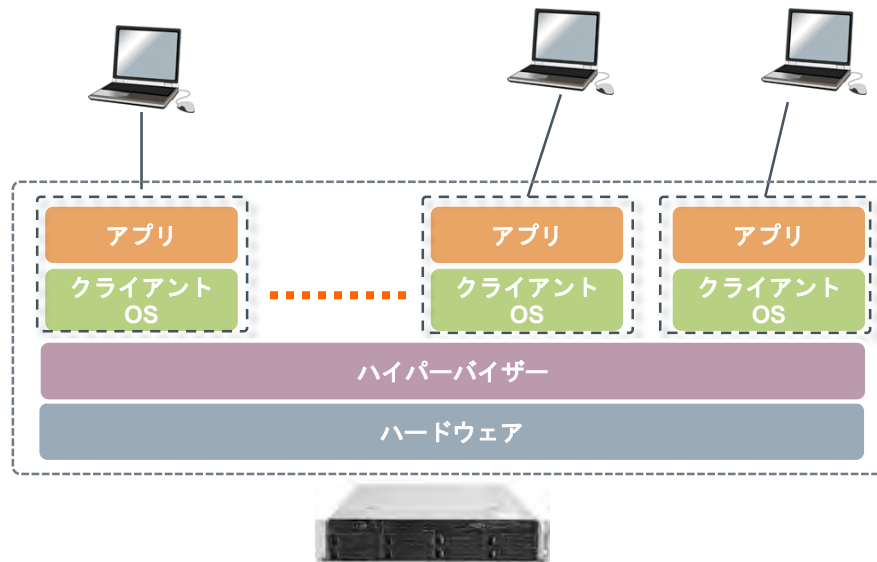
# ブレードPC方式

- › 各ユーザーに「ブレードPC」と呼ばれる物理的なPCを割り当てる
- › ユーザーは紐づけられたブレードPCをネットワーク経由で利用
- › 基本的にユーザーの数だけブレードPCが必要
- › ブレードPC上のクライアントOSとアプリケーションを利用
- › 端末とブレードPCは画面情報と入力情報をやりとりする



# VDI(仮想PC)方式

- › 各ユーザーに仮想的なPCを割り当てる
- › ユーザーは紐づけられた仮想PCをネットワーク経由で利用
- › 仮想マシンのクライアントOSやアプリケーションを利用
- › 端末とクライアントOSは画面情報と入力情報をやりとりする



# 実装方式と主な製品

実装方式	主な製品
ネットワークブート方式	Citrix Provisioning Server NetBoot VHD
サーバーベース方式 (サーバー共有方式) (アプリケーション仮想化方式)	Microsoft Remote Desktop Service Citrix XenApp
ブレードPC方式	各サーバーベンダーの製品
VDI方式 (仮想PC方式)	VMware Horizon View Citrix XenDesktop Microsoft VDI

ありがとうございます。

本文書に記載のすべての商標、商号、または製品名は、該当する各社の商標、商号、または製品名です。本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。この文書の使用によって直接的または間接的に生じた損害について、一切責任を負いません。